



2020年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社 M I E コーポレーション
代表者名 取締役社長 中山 弥一
(コード番号 3442名証第2部)
問合せ先 代表取締役副社長管理本部長
兼経営企画部長 岡 和明
(TEL 0594-31-6668)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社グループは、2020年度から2022年度までの3年間の中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせします。

記

1. 前中期経営計画の振り返り

2017年6月、110周年を迎えました当社グループは、《変革への挑戦 社会の変革ニーズへの対応》を基本方針とし5年間にわたる中期経営計画「CHANGE & CHALLENGE Ver2」を策定いたしました。5年計画のうち初年度からの3年間は構造改革期と位置づけ、生産活動、生産管理活動、営業活動を中心に抜本的な改革に取り組み収益体質の回復、事業基盤の確立を進めてまいりました。その結果、マーケット環境の好転もあり流通問屋向けへの販売が堅調に推移したことや、構造改革施策の取り組みにより着実に成果をあげることができました。

しかしながら、不採算品の海外OEMへの切り替えや収益性の高い製品の受注の減少により工場稼働率が低下し、製造原価における固定費負担が高まったことによる売上総利益率の低下が見られました。今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により国内外の経済活動が停滞し、当社業界におきましても厳しい状況が今後も続くと思込まれる状況のなか、現中期経営計画が一定の成果を得たこと、また当社グループが直面する新たな課題解決に向け2020年度をスタートとする3年間の新中期経営計画を策定いたしました。

2. 新中期経営計画(2020年度～2022年度)の策定

2020年度からの3年間は再成長から次なるステージに向かう飛躍の年にするため、新中期経営計画 Make The Next Stage『変革と飛躍』～あらゆる変化に挑み、飛躍するM I Eグループ～を策定しました。ユーザーが持っている高付加価値ニーズを汲み取った提案営業による物件受注獲得

の強化およびユーザーを満足させるモノづくりの実現、グループ横断バリューチェーンのプロセス改革およびITシステム化による生産性向上・可視化向上によりグループ・製販一体となって顧客ニーズに対応してまいります。基本方針とそれらを実現するべく策定した重点戦略を着実に実行し、数値目標を達成してまいります。

新中期経営計画の位置づけ

- ↳ 再成長から次なるステージに向かう飛躍の3年間
- ↳ Make The Next Stage 『変革と飛躍』 ～あらゆる変化に挑み、飛躍するM I Eグループ～
- ↳ グループ・製販一体となって顧客ニーズに対応していく

戦略テーマ

経営ビジョンとして「新たなマーケットの開拓」「モノづくりの再生」を掲げ、中長期的な課題を解決するため2つの戦略テーマを設定しております。

テーマ①ユーザーが持っている高付加価値ニーズを汲み取った提案営業による物件受注獲得の強化およびユーザーを満足させるモノづくりの実現

テーマ②グループ横断バリューチェーンのプロセス改革およびITシステム化による生産性向上・可視化向上

以上、2つのテーマを達成するためにグループ各社が下記の重点施策を展開してまいります。

重点施策

- ↳ ユーザーへの提案営業強化による物件品の受注拡大
- ↳ 稼働率の向上に寄与する高付加価値なモノづくりと効率的な生産体制の確立
- ↳ 多様なニーズに対応する調達機能とM I Eグループ全体の在庫管理の実現
- ↳ 幅広い物件品ニーズに対応し得るより高度な品質水準の追求
- ↳ M I Eグループ全体の生産性向上に資する組織体制の確立
- ↳ 継続的な新規得意先の開拓と案件獲得力の強化
- ↳ 効率的かつ迅速な物流の実現によるM I Eグループ全体の収益性向上への貢献

3. 数値目標

達成目標等の数値計画につきましては既に策定済ではありますが、足許では新型コロナウイルスの影響が予測できないこともあり、今後内容精査の上、適切な時期に改めて開示することを予定しています。

以上